

TETTO COLUMN ～館長のつぶやき～

「私たちは何者？」 2021/4 「RE:TETTO」 No.40

RE:TETTO ご愛読の皆様こんにちは。釜石市民ホール TETTO 館長の谷澤栄一（たにさわ えいいち）です。今月号より「館長のつぶやき」というミニコラムを担当することとなりました。さて、時々ですが私に声をかけてくださる利用者様に「市役所の方ですよね？」と言われることがあります。残念ながら、私たちホール職員は釜石まちづくり株式会社という民間の会社に所属しており、釜石市から「指定管理者」として TETTO の運営や維持・管理を任されています。事務職員の他にも、施設設備管理、舞台技術管理などのプロフェSSIONAL の方々にも毎日お手伝いいただきながら、市民の皆様が安全・安心に利用できる施設を目指して運営を行っています。これから毎月、ホールでの出来事や感じていることなど、徒然に書いていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。



毎年恒例となった「第4回ひなまつり展」の様子

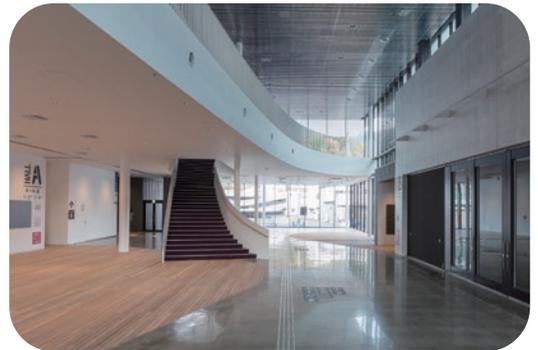
「ガラス張りのホール」 2021/5 「RE:TETTO」 No.41

皆さま、こんにちは。釜石市民ホールの愛称「TETTO」の意味は皆さんよくご存じかと思いますが、新年度で新たに釜石にお越しの方もいるかと思うので復習してみますね。TETTO（テット）には「鉄都」とイタリア語で「大きな屋根」という2つの意味があります。ホール前の広場はガラスの大屋根が印象的ですよね。そしてホール全体を外から見渡してみると、ガラスがふんだんに使われているのを見てとれるかと思います。これには設計者の強い想いが込められているんです。日中はホールの中の活動の様子が生き活きと外に漏れだすように、そして夜は復興の象徴として釜石を明るく照らし続けるように……。さまざまな方の想いがいっぱい詰め込まれた、とても温かいホールです。皆様のご来館、お待ちしております。



「コロナ禍の TETTO は安全？」 2021/6 「RE:TETTO」 No.42

新型コロナウイルス感染症はまだまだ止まることを知らず、国民のワクチン接種が一通り完了するまでは、市民の皆さんの文化活動にも影響が続きそうですね。さて、TETTO は本当に安全なのか？皆さんも知りたいところではないでしょうか。3密回避策として開館中の換気は充分に行っています。共通ロビーは 2.21 回、ホール B は 4.29 回、ホール A は 1.09 回、会議室は 3.61 回。さて何の回数でしょう？これらは換気によって 1 時間あたり部屋の空気が何回入れ替わっているかという数字です。TETTO は窓や扉を開けずとも十分な換気が常に行われています。またホール A・B では二酸化炭素濃度も測定し換気を目安としています。マスクをしっかりと着用し、入口での手指消毒、館内での距離（ディスタンス）を取っていただければ、釜石市民ホールはととても安全な場所ですので、皆様ご安心してお越しください。



「TETTO では何ができるの？」 2021/7 「RE:TETTO」 No.43

コロナ禍ということで、本格的なホールの市民利用やイベントなどはもう少し先になりそうですね。さて今回は TETTO のちょっと変わったご利用例についてお話ししましょう。基本的にはホールですから、コンサートや講演会、会議、カルチャー教室などの利用を皆さんは想像しますよね。しかしながら次のような変わり種のご利用がこれまでにありました。「ボクシングの公式大会」「プロレス」「空手教室」「クラシックカーの展示」「ファッションショー」などなど、まるで文化施設とは思えないようなご利用が TETTO では行われています。この夏にはボルダリング（スポーツクライミング）の体験会もありますよ！皆さんも TETTO で何ができるか？どしどしご提案ください。ホールスタッフも皆さんのご希望（ご利用目的）を実現すべく寄り添いながらお話を伺います。皆さまからの声がけ、お待ちしております！



第31回東北高校ボクシング大会（2020/1/18）の様子